

自然と歴史山歩 東お多福山で植物観察

2023年10月28日(土)

参加者7名(スタッフ含む)

前日の雨も上がり阪急芦屋川駅の北側は沢山のハイカーでごった返していた。今回は7名ととても少なかったが、初めて参加される方がいて、秋のハイキングを楽しんでもらおうと気分も上がる。芦屋川沿いの歩き慣れた道を色づき始めた桜の木々を見ながら歩く。高座の滝で小休止。藤崎先生の話の拝聴している間にもどんどん人が上がって来る。そこから風吹岩辺りまで若いハイカーグループと抜きつ抜かれつ進む。雨が峠への道を歩きながら、藤崎先生が「昔も今も、この道はええ道やなあ」と言われて、昔と変わっていないことを嬉しく思った。

峠からはぐっと人も減り、東お多福山までは明るく開けた道となった。ススキが見頃だったが、目を凝らすとススキの中にセンブリやリンドウが可愛らしく咲いている。皆思い思いに写真を撮りながら、東側の斜面が開けたところで昼食とする。景色も遠くまで見えて涼しい風も吹き、とても気持ちの良い所だ。環境省の中村氏が手作りのパネルで東お多福山の植生について説明をしてくださった。東お多福山は神戸市がススキの再生に力を入れている山域で、繁殖力の強いササを刈るボランティアが不足しているらしい。

食後は登山口バス停までの道を下って行く。やや滑りやすいが、コアジサイの黄色く色づいた葉が多く見られ、開花の頃にも歩いてみたい道だった。(自然保護委員 須川 幸枝)